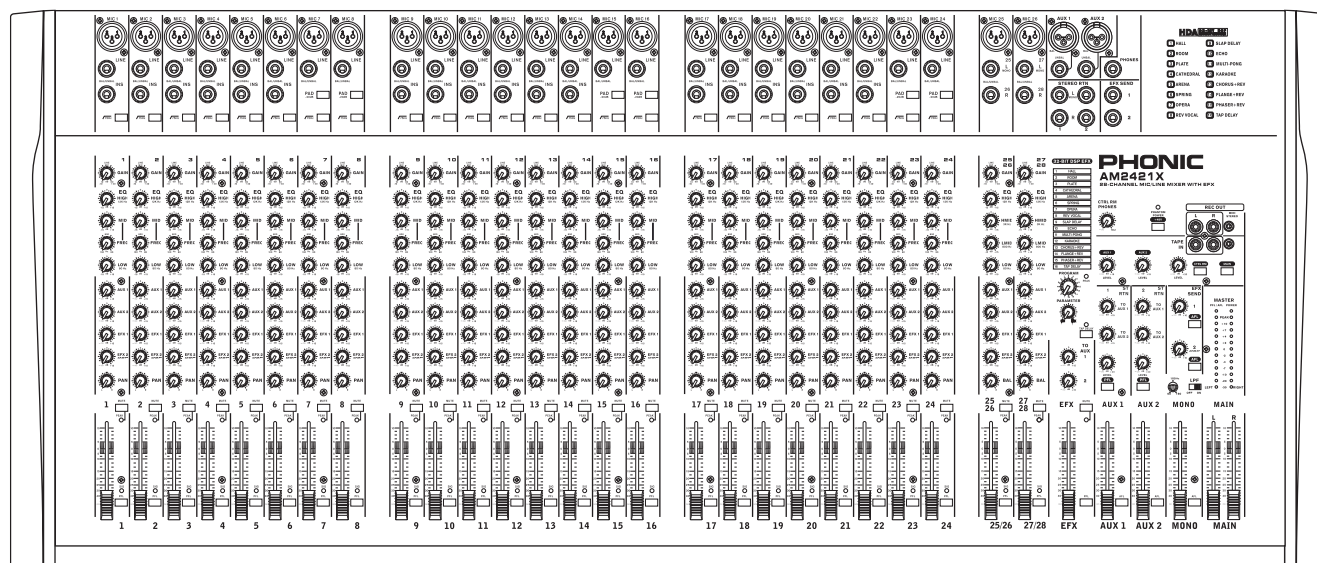


PHONIC

AM82IX / AM122IX AMI62IX / AM242IX

MIXING CONSOLE



取扱説明書

AM821X / AM1221X / AM1621X / AM2421X

MIXING CONSOLE

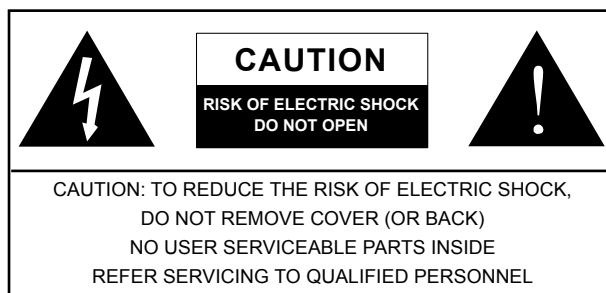
CONTENTS

基本性能	3
ご使用頂く前の準備	3
接続	4
インプット/アウトプット	4
リアパネル	5
コントロールと設定	5
リアパネル	5
チャンネルコントロール	6
デジタルエフェクター	7
TAPE INセクション	8
マスターコントロール	8
仕様	10
デジタル エフェクト	12
接続例	13
寸法	15
ダイアグラム	16

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使われない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気が必要な機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様にご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

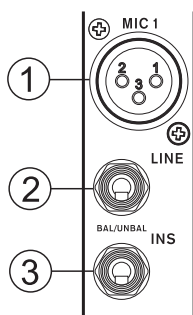
- 全てのモノラルチャンネルにインサート入力とファンタム電源を装備
- 4 バンドEQ付 2 ステレオチャンネル
- 10系統 (AM821X)、14系統 (AM1221X)、18系統 (AM1621X)、26系統 (AM2421X) のマイク入力端子
- 各モノラルチャンネルに、中域スイープおよびローカットフィルターを備えた 3 バンドEQ装備
- 18dB/octの75Hzローカットフィルター装備
- 4 AUXセンドおよびAUX1/2出力端子
- 2 ステレオAUXリターン
- サブウーファースピーカー用の可変ローパスフィルターを備えたモノラル出力
- AUX1/2に転送可能なテープ入力
- 16 プログラムおよびパラメーターコントロール/タップディレイ付きの32/40 bitデジタルマルチエフェクト・プロセッサー

ご使用頂く前の準備

1. 本機器の電源がすべてオフになっていることを確認して下さい。
2. フェーダーとレベルコントロールを最小値にセットします。
3. 使用する楽器や入力機器を、本機器の各入力端子に接続します。
4. 使用する出力機器を本機器の各出力端子に接続します。
5. 付属の電源ケーブルを繋ぎ、電源を入れます。

接続

インプット/アウトプット



1. XLR入力端子

バランス(アンバランス)XLR入力端子です。

コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。

不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

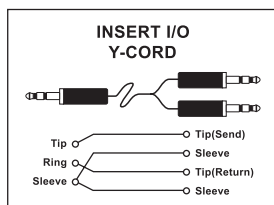
2. ライン入力端子

1/4"TRS(バランス)、TS(アンバランス)フォン入力端子です。様々なライン出力機器を接続することが出来ます。

3. インサート端子

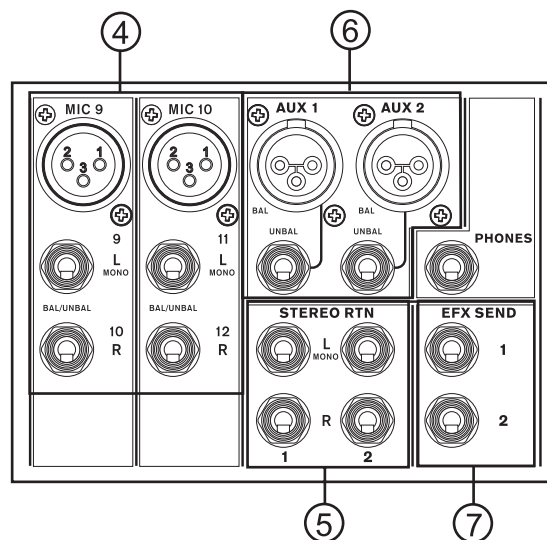
ダイナミックプロセッサーやイコライザーなどの外部機器を該当するモノラル入力チャンネルに接続する際に使用します。

本端子を介して外部のプロセッサーと信号をやり取りするにはインサージョンケーブル(別売り)が必要です。



4. ステレオチャンネル

2つのステレオチャンネルには、XLRと1/4"フォン入力が用意されており、シンセサイザーやキーボードなどのステレオ機器を接続できます。



5. STEREO RTN

外部のシグナルプロセッサーで処理された信号をミキサーに戻す際に使用する1/4"フォン端子です。本入力は、本体前面のSTEREO RTNコントロールつまみでレベル調整できます。

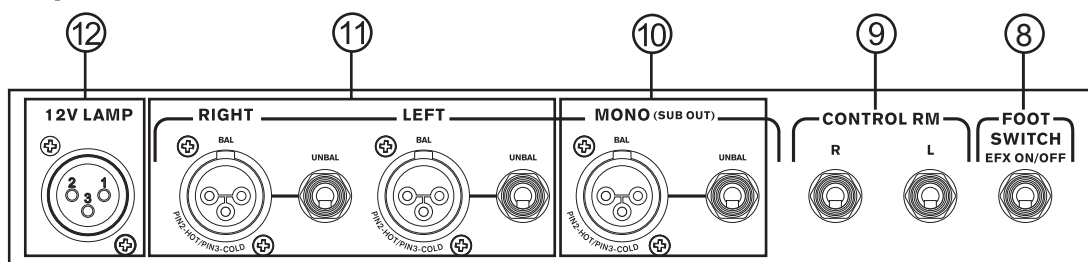
6. AUX 1/2出力

該当するAUX SENDミキシングバスの信号を出力するXLRおよび1/4"フォン端子です。外部のエフェクトプロセッサーやステージモニターを接続するのに最適です。

7. EFX センド

EFX SENDミキシングバスからの信号を出力する1/4"フォン端子です。外部のデジタルエフェクトプロセッサーを接続したり、アンプやスピーカーを接続したりする際に使用します。

リアパネル



8. FOOT SWITCHジャック

内蔵デジタルエフェクトを切り替えるためのフットスイッチを接続します。本端子にフットスイッチを接続すれば、デジタルエフェクトをフットスイッチでオン・オフできます。(フットスイッチは別売りです)

9. CONTROL RM / PHONES

本体前面のCONTROL RMコントロールつまみでレベル調整された信号を出力する1/4"フォン端子です。

10. MONO / SUB OUT

メイン信号のL/Rが結合されたモノラル信号を出力するXLRおよび1/4"フォン端子です。

11. MAIN出力

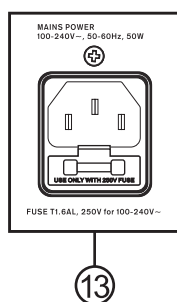
パワーアンプ、モニター等の外部機器にメイン出力を送信する、XLRおよび1/4"フォン端子です。

12. 12V LAMP

XLR端子に12V (7W) のグースネックランプ(別売り)を接続すれば、薄暗い場所でもよく見えるようになります。

13. 電源コネクター

本製品に付属している電源ケーブルを接続します。付属の電源ケーブル以外は使用しないで下さい。



メインミキシングパネル

14. TAPE IN

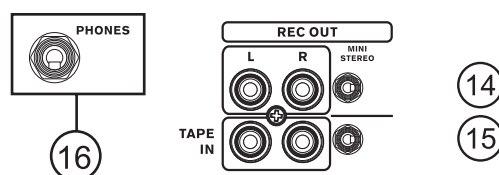
RCAケーブルを使用してテープデッキやCDプレーヤーなどを接続できます。またミニディスク (MD) やCD、MP3プレーヤー等を接続するためのミニステレオ端子が用意されています。本端子の入力ラインはCONTROL RM、AUX1/2、およびMAIN L/Rミキシングバスに信号が送られます。

15. REC OUT

TAPE IN端子と同様に、本端子にRCAケーブルを接続して各種録音装置に信号を送ることができます。また、本出力にもミニステレオ端子が用意されており、CD、MP3プレーヤー等を接続することが出来ます。

16. ヘッドフォン出力

ヘッドフォンを接続し、ミックスのモニタリングをすることが出来ます。

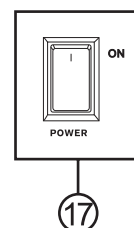


コントロールと設定

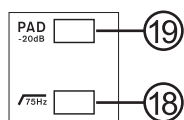
リアパネル

17. POWERスイッチ

本機器の電源をオン・オフします。



チャンネルコントロール



- 18. ローカットフィルター (75Hz)**
このスイッチを押すことで、75Hz以下の周波数帯が15dB/octの割合でカットされます。

19. PADボタン (ステレオチャンネルのみ)

マイク/ライン入力信号が20dB減衰します。これにより入力信号のダイナミックレンジを広げることが出来ます。

20. ゲイン コントロール

マイク/ライン入力信号のゲインレベルを調整します。

21. HIGHコントロール

高音域(12kHz)を±15dBでカット/ブーストをすることが出来ます。

22. MIDコントロール

中音域を±15dBの範囲でブースト/カットします。フリークエンスレンジは100Hz~8kHzの範囲内で設定を行うことが出来ます。

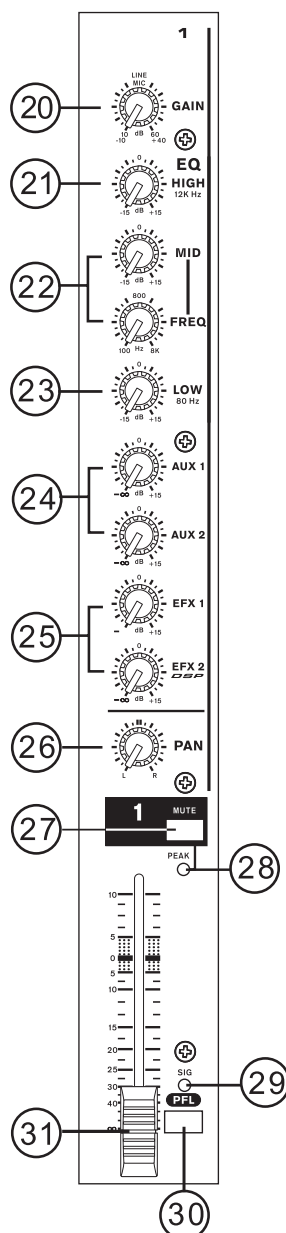
ステレオチャンネルは、HIGH-MID (高中域) 及びLOW-MID (低中域) コントロールつまみが装備されています。それぞれ3 kHzと800 Hzの周波数範囲をブースト/カットします。

23. LOWコントロール

低音域(80Hz)を±15dBでカット/ブーストすることが出来ます。

24. AUXコントロール

AUX1/2ミキシングバスに送られる信号のレベルを調整できます。



25. EFX 1/2

該当するチャンネルからEFX 1/2ミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。EFX 2信号は内蔵デジタルエフェクトプロセッサにも送られるので、この信号にエフェクトをかけることが出来ます。

26. PAN/BALANCE コントロール

信号の定位をコントロールすることが出来ます。モノチャンネルの場合はPANコントロールで、左右のメインミックスのレベルを調整することが出来ます。ステレオチャンネルの場合はBALコントロールで左右の信号のバランスを調整します。

27. MUTEボタン

該当チャンネルの信号をミュートします。ミュートを押すと、PEAKインジケータが点灯します。

28. PEAKインジケータ

入力信号がピークに達し、オーバードの6dB手前になったとき点灯します。最適な状態を得るために、PEAKインジケータが定期的に点灯するように該当チャンネルのレベルを調整して下さい。

29. SIGインジケータ

入力レベルが-20dBuに達したとき (該当チャンネルに信号が入力されたとき) 点灯します。

30. PFLボタン

該当チャンネルの信号がCONTROL RM/PHONESミックス (プリフェーダー、ポストイコライザー) に送られ、その信号をヘッドフォンやスタジオモニターで使えるようになります。PFLボタンがオンのとき、ボタンの上にあるSIGインジケータが点灯します。

31. チャンネルレベルコントロール

該当チャンネルからメイン L/Rミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

デジタルエフェクター

32. PROGRAMコントロール

各種エフェクトを選択する際に使用します。つまみを回すと自動的にエフェクトが変更され、そのエフェクトがミックスに適用されます。

33. PEAKインジケーター

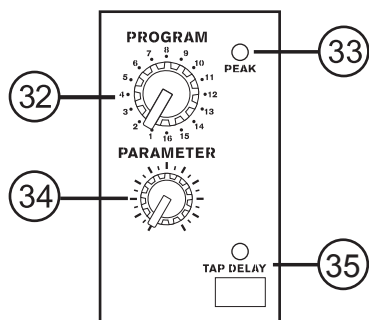
エフェクト信号がピークに達し、オーバーロードの 6dB 手前になったとき点灯します。最適な状態を得るために、ピーク時のみPEAKインジケーターが点灯するようにEFX RTNフェーダーを調整して下さい。

34. パラメーターコントロール

出力に適用されるデジタルエフェクトのパラメーターを適切な値に設定します。

35. TAP DELAYボタン(インジケーター付き)

タップディレイが選択されているときにボタンを2回押すと、ボタンを押した間隔がディレイ時間としてエフェクトプロセッサに設定されます。何度もボタンを押した場合は、最後に押した2回の間隔がディレイ時間として設定されます。ボタンの上にはインジケーターがあり、設定された時間間隔で点滅します。



36. TO AUX 1/2コントロール

エフェクトエンジンから AUX1/2ミキシングバスに送られる信号のレベルを調整します。

37. MUTEボタン

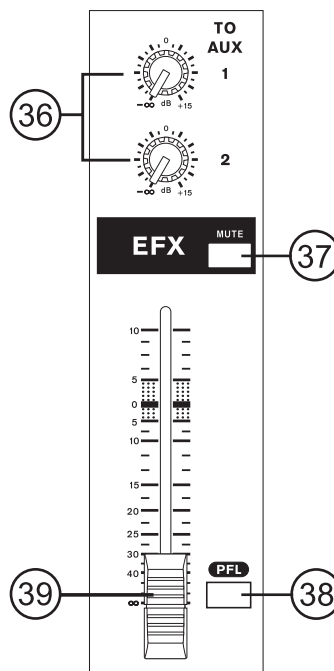
内蔵エフェクト信号がミュートされます。

38. PFLボタン

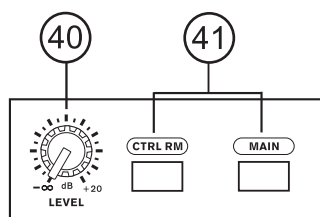
エフェクト信号がCONTROL RM/PHONESミックスに送られヘッドフォンでモニターすることが出来ます。

39. DSPエフェクトフェーダー

エフェクトエンジンから メイン L/Rミックスに送られる信号レベルを調整します。



TAPE INセクション



40. LEVELコントロール

TAPE INミキシングバスからCTRL RM/PHONESミキシングバス（およびメイン L/Rミキシングバス）に送られる信号のレベルを調整します。

41. CTRL RM/MAINボタン

TAPE IN信号を指定したミキシングバスに送ることができます。不要なフィードバックを避けるため、REC OUT信号がTAPE IN入力にフィードバックされているときはMAINボタンを押さないでください。

42. TO AUX 1/2コントロール

TAPE INからAUX1/2ミキシングバスに送られる信号のレベルを調整します。

マスターコントロール

43. ST RTN TO AUX 1/2コントロール

ST RTNコントロールから該当するAUXミキシングバスに送られる信号（モニター用エフェクトセンド信号）のレベルを調整します。

44. ST RTN LEVELコントロール

この回転式つまみは、ST RTNから MAIN L/Rミックスに送られる信号のレベルを調整するのに使います。

45. ST RTN PFLボタン

このPFL（プリフェーダーリッスン）ボタンを押すと、STEREO RTN信号がCTRL RM/PHONESミックス（プリフェーダー、ポストイコライザー）に送られ、その信号をヘッドフォンやスタジオモニターで使えるようになります。

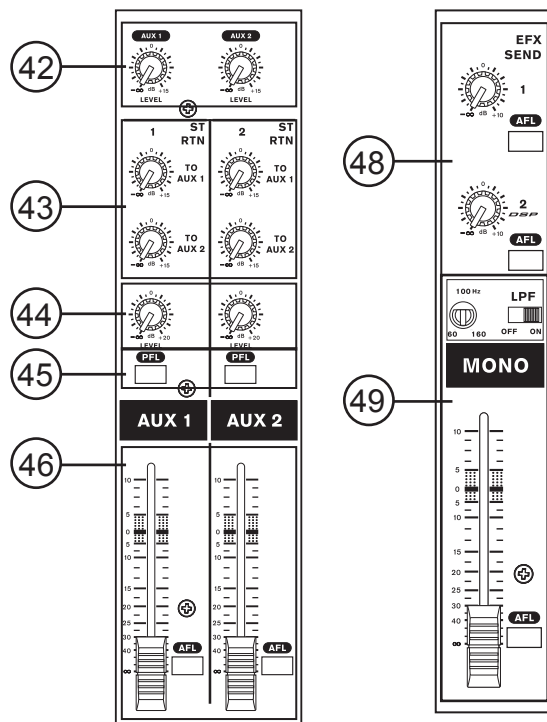
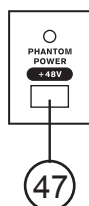
46. AUX 1/2マスターコントロール

AUX1/2からそれぞれの出力に送られる信号レベルを調整できます。各フェーダーにはAFL（アフターフェーダーリッスン）ボタンが用意されており、ボタンを押すことで、ポストフェーダー信号をCTRL RM/PHONESミキシングバスに送ることができます。

47. ファンタム電源ボタン （インジケーター付き）

各マイク入力に+48Vファンタム電源が供給され、これらのマイク入力でコンデンサーマイクが使えるようになります。

注：ファンタム電源はコンデンサーマイクを使うときのみオンにしてください。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。



48. EFX SEND 1/2マスターコントロール

各チャンネルのEFX1/2信号レベルを調整します。調整された信号は、それぞれのEFX SENDに送られます。AFLボタンを押すことで、ポストフェーダー信号をCTRL RM/PHONESミキシングバスに送ることも可能です。

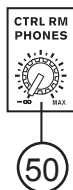
49. MONOチャンネルフェーダー

MONOミキシングバスからリアパネルのMONO/SUB OUT出力に送られる信号レベルを調整します。本フェーダーにはAFLボタンが備えられており、ボタンを押すことで、ポストフェーダー信号をCTRL RMミキシングバスに送ることができます。

また、本フェーダーにはローパスフィルターも用意されています。モノラル出力に含まれる高音域を12dB/octでカットできるので、よりクリアなサウンドをサブウーファーで出力することが出来ます。LPFスイッチでフィルターをオン・オフし、つまみを使ってカットオフ周波数を60Hzから160Hzの間で調整します。

50. CONTROL RM/PHONES コントロール

音声のモニターやトラッキングに使うCONTROL RM/PHONES出力の信号レベルを調整します。この信号は、リアパネルのCTRL RM端子に送られると同時に、本体前面のヘッドフォンジャックにも送られます。



AFLボタンが押されている時は、MAIN L/R信号よりもAFL信号が優先されます。また、PFLボタンが押されているときは、AFLおよびMAIN L/R信号の代わりにPFL信号が出力されます(下表を参照)。

優先度	信号
高	PFLからの信号
中	AFLからの信号
低	MAIN L/R信号

51. レベルメーター

MAIN L/Rの出力レベルをリアルタイムで確認出来ます。できるだけ十分な音量を得るために、PEAKランプが時々点灯する程度に各コントロールを調整して下さい。

PFLまたはAFLボタンがオンのとき、MAIN L/RレベルメーターにはCONTROL RM/PHONES信号の状態が表示されます。

52. PFL/AFLインジケータ

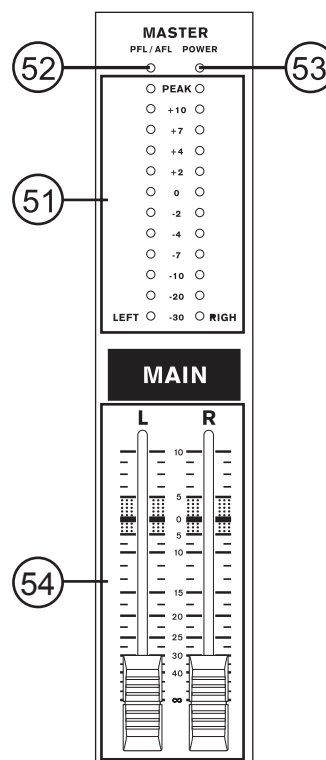
レベルメーターの上にあるPFL/AFLインジケータは、PFLスイッチがオンのとき緑に点灯し、AFLスイッチがオンのとき赤に点灯します。AFLよりPFLが優先されるため(49項参照)、AFLとPFLが同時にオンになっている場合は、PFLインジケータが緑に点灯します。

53. POWERインジケータ

本機器の電源がオンのとき点灯します。

54. MAIN L/Rフェーダー

リアパネルのMAIN L/R端子に送られる信号レベルを調整します。



仕様

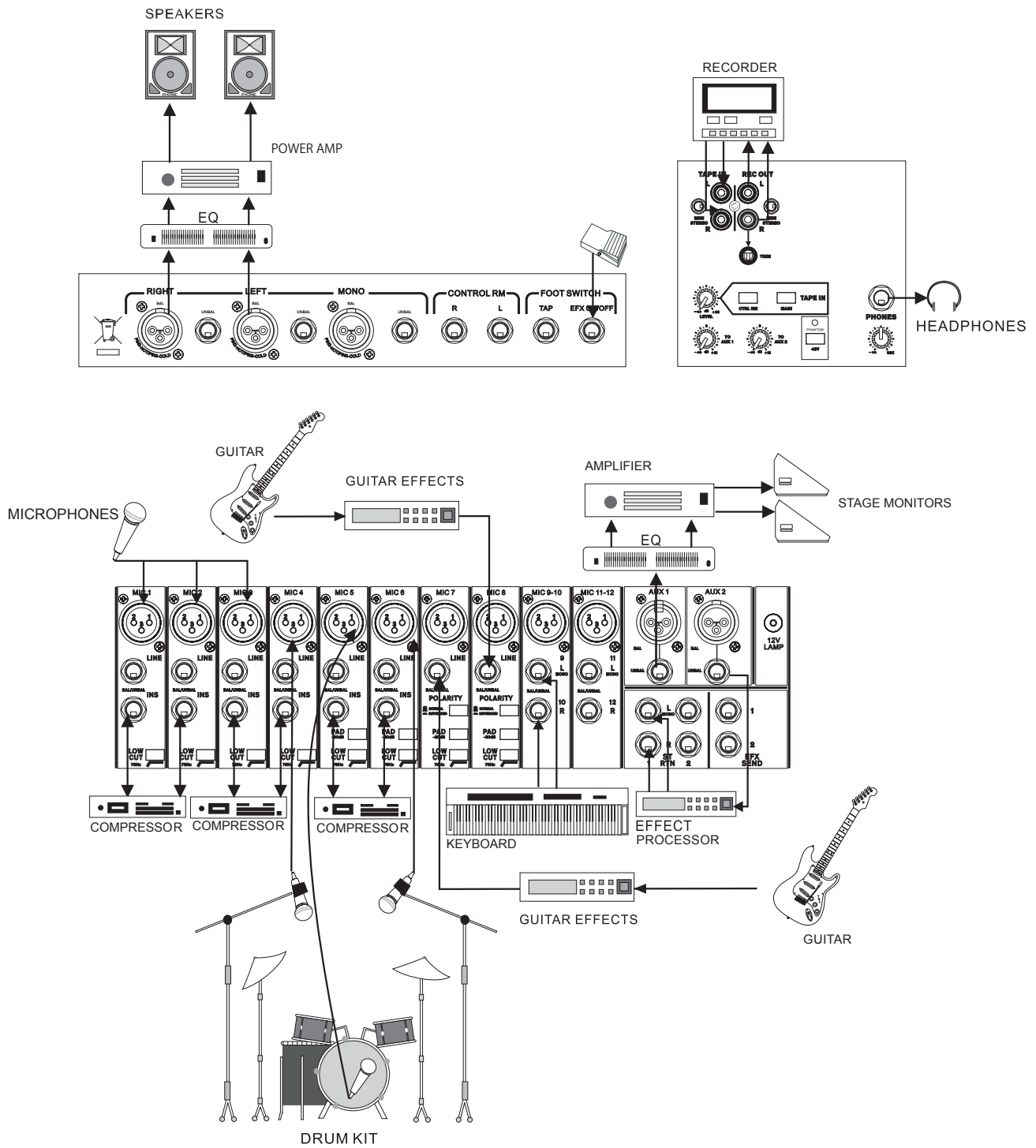
	AM821X	AM1221X	AM1621X	AM2421X
入力：				
バランスマイク/ラインチャンネル	8	12	16	24
ステレオチャンネル(マイクプリアンプ付き)	2	2	2	2
ステレオAUXリターン	2	2	2	2
2T入力	ミニステレオおよびステレオRCA			
出力：				
メインL/Rステレオ	アンバランスタイプ、2×1/4"フォン、XLR×2			
MAINモノラル	アンバランスタイプ、1×1/4"フォン、XLR×1			
AUXセンド	4系統、アンバランスタイプ、4×1/4"TS、XLR×2			
REC OUT (トリムつまみ付き)	ミニステレオおよびステレオ RCA			
コントロールルームL/R	2×1/4"フォン	2×1/4"フォン	2×1/4"フォン	2×1/4"フォン
フォン出力	1	1	1	1
チャンネルストリップ	10	14	18	26
AUXセンド	4	4	4	4
パン/バランス調整	あり	あり	あり	あり
チャンネルON/MUTE	あり	あり	あり	あり
チャンネルソロ (PFL) (メーター付き)	あり	あり	あり	あり
LEDインジケータ	MUTE/PEAK、SIG/PFL			
ボリューム調整	60mmフェーダー	60mmフェーダー	60mmフェーダー	60mmフェーダー
マスターセクション：				
AUXセンドマスター	4	4	4	4
マスターAUXセンドソロ(AFL)	4	4	4	4
ステレオAUXリターン	2	2	2	2
モニター用エフェクトリターン	3	3	3	3
フェーダー (60mm)	EFX RTN、AUX1、AUX2、MONO、MAIN L/R			
メーター：				
チャンネル数	2	2	2	2
セグメント	12	12	12	12
ファンタム電源	DC48 V	DC48 V	DC48 V	DC48 V
スイッチ	マスター	マスター	マスター	マスター
エフェクトプロセッサー (32 bit DSP)	16 種類のエフェクト、メインパラメーターコントロール、タップディレイコントロール、フットスイッチジャック (エフェクトオン・オフ、タップ)			
周波数応答 (マイク入力・出力間)				
20Hz～60KHz	+0/-1 dB	+0/-1 dB	+0/-1 dB	+0/-1 dB
20Hz～100KHz	+0/-3 dB	+0/-3 dB	+0/-3 dB	+0/-3 dB
クロストーク (1kHz@0dBu、帯域幅20Hz～20kHz、チャンネル入力・メインL/R出力間)				
Channel fader down, other channels at unity	<-90 dB	<-90 dB	<-90 dB	<-90 dB
ノイズ (20Hz～20kHz、メイン出力で測定、チャンネル1～4@ ゲイン×1、EQフラット、全チャンネルメインミックス、チャンネル1/3 左端、チャンネル2/4右端、リファレンスレベル+6dBu)				
マスター@unity, channel fader down	-86.5 dBu	-86.5 dBu	-86.5 dBu	-86.5 dBu
マスター@unity, channel fader @ unity	-84 dBu	-84 dBu	-84 dBu	-84 dBu

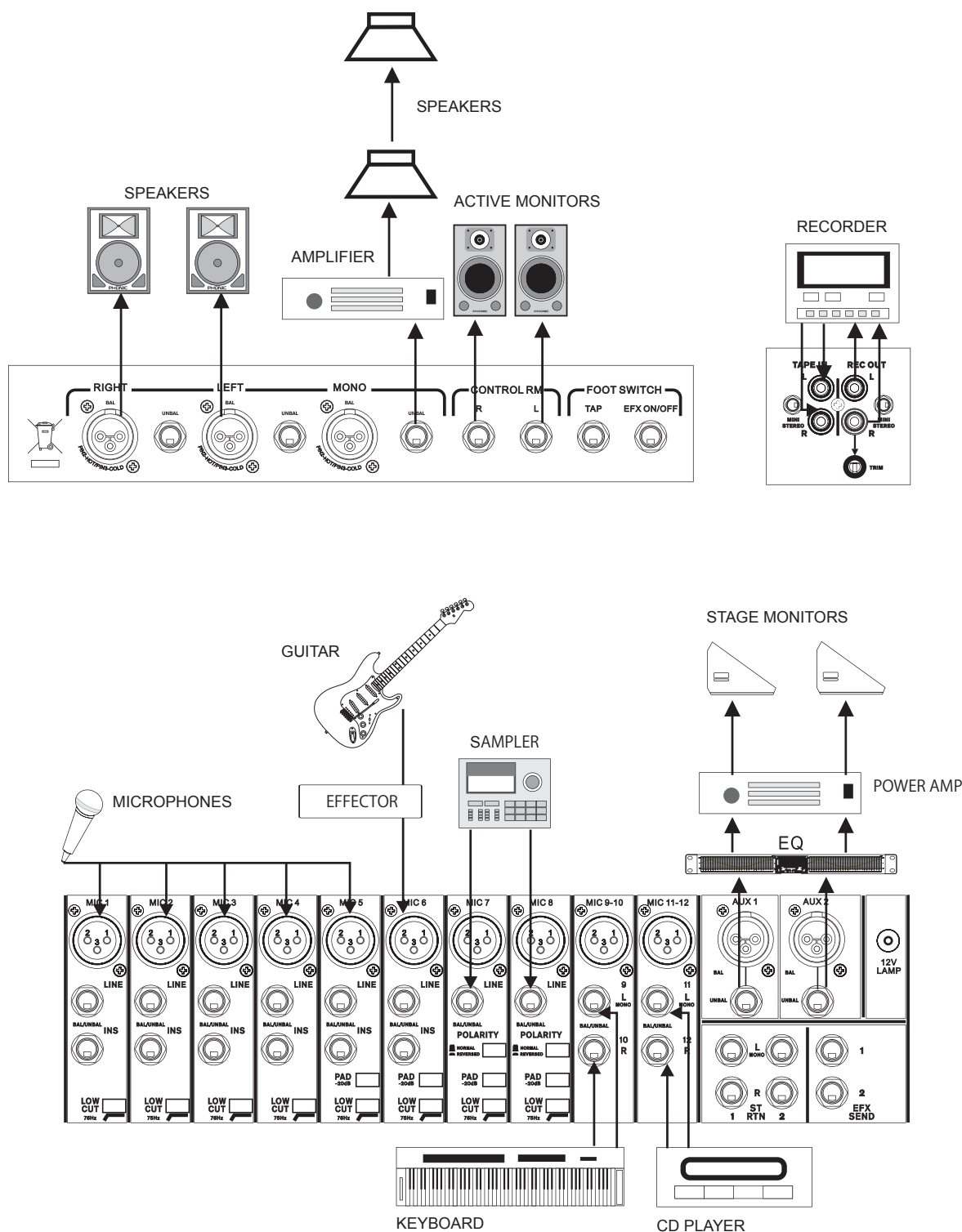
	AM821X	AM1221X	AM1621X	AM2421X
S/N比、リファレンスレベル+4dBu	>90 dB	>90 dB	>90 dB	>90 dB
マイクプリアンプE.I.N. (終端150Ω、ゲイン最大)	<-129.5 dBm	<-129.5 dBm	<-129.5 dBm	<-129.5 dBm
THD (全出力、1kHz@+14dBu、 20Hz～20kHz、チャンネル入力)	<0.005%	<0.005%	<0.005%	<0.005%
CMRR (1kHz@-60dBu、ゲイン最大)	80dB	80dB	80dB	80dB
最大レベル:				
マイクプリアンプ入力	+10dBu	+10dBu	+10dBu	+10dBu
他の入力	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu
アンバランス出力	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu
バランス出力	+28dBu	+28dBu	+28dBu	+28dBu
インピーダンス:				
マイクプリアンプ入力	2 K Ω	2 K Ω	2 K Ω	2 K Ω
他の入力 (インサートを除く)	10 K Ω	10 K Ω	10 K Ω	10 K Ω
他の出力	100 Ω	100 Ω	100 Ω	100 Ω
RCA 2T出力	1.1 K Ω	1.1 K Ω	1.1 K Ω	1.1 K Ω
イコライザー	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB
LOW EQ	80Hz	80Hz	80Hz	80Hz
MID EQ (モノラルチャンネル)	100-8k Hz, スweep可	100-8k Hz, スweep可	100-8k Hz, スweep可	100-8k Hz, スweep可
MID EQ (ステレオチャンネル)	800, 3k Hz	800, 3k Hz	800, 3k Hz	800, 3k Hz
HIGH EQ	12 kHz	12 kHz	12 kHz	12 kHz
ローカットフィルター (モノラルチャンネル)	75 Hz (-18 dB/oct)	75 Hz (-18 dB/oct)	75 Hz (-18 dB/oct)	75 Hz (-18 dB/oct)
ローパスフィルター (MAINモノラル出力)	60-160 Hz 可変 (-12 dB/oct)	60-160 Hz 可変 (-12 dB/oct)	60-160 Hz 可変 (-12 dB/oct)	60-160 Hz 可変 (-12 dB/oct)
重量	7.2 kg	8.7 kg	10.5 kg	13.5 kg
サイズ (W×H×D)	510x106.5x473.2mm	642x106.5x473.2mm	774x106.5x473.2 mm	1038x106.5x473.2mm

デジタルエフェクト

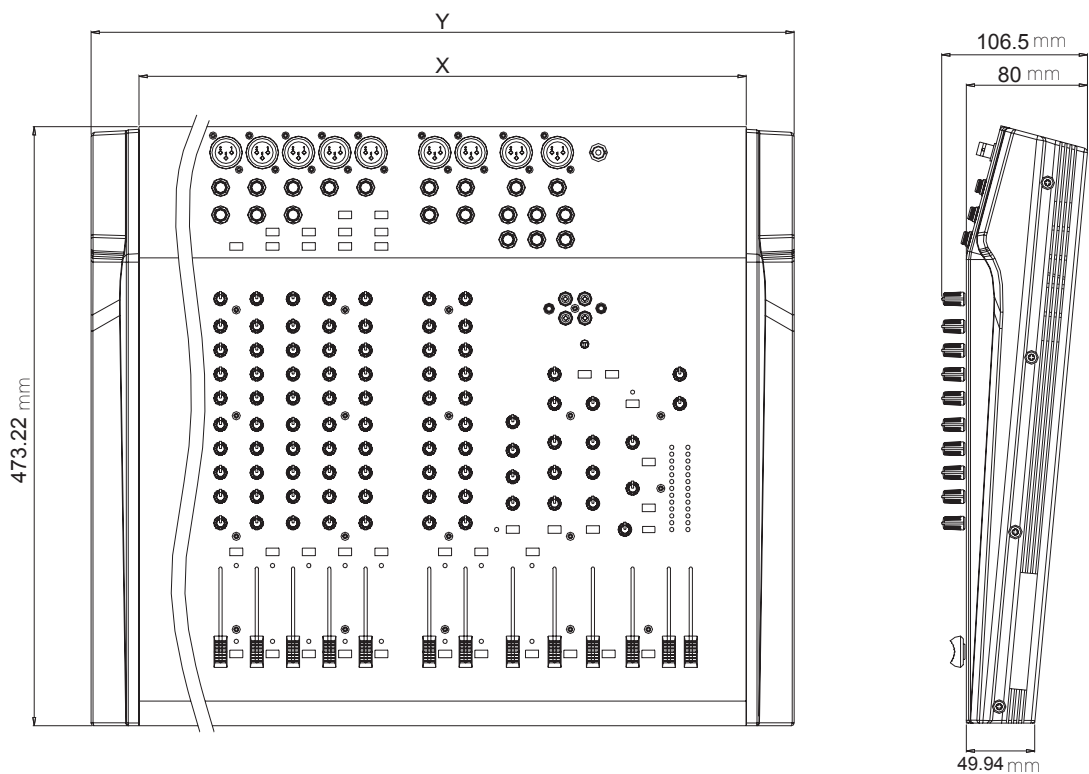
	Program	Parameter	Variable Range
1	Hall	Reverb Time	0.3 - 10 sec
2	Room	Reverb Time	0.3 - 3.2 sec
3	Plate	Reverb Time	0.3 - 10 sec
4	Cathedral	Reverb Time	0.3 - 10 sec
5	Arena	Reverb Time	0.3 - 10 sec
6	Spring	Reverb Time	0.3 - 10 sec
7	Opera	Reverb Time	0.3 - 10 sec
8	Rev Vocal	Reverb Time	0.3 - 10 sec
9	Slap Delay	Delay Time	0 - 800 ms
10	Echo	Delay Time	0 - 800 ms
11	Multi-Pong	Delay Time	0 - 800 ms
12	Karaoke	Delay Time & Feedback	Delay Time: 160 - 260 ms; Feedback: 45-65
13	Chorus + Rev	Depth	0 - 100%
14	Flange + Rev	Modulation Frequency	0.05 - 4.00 Hz
15	Phaser + Rev	Modulation Frequency	0.05 - 4.00 Hz
16	Tap Delay	Feedback Gain	0 - 99%

接続例



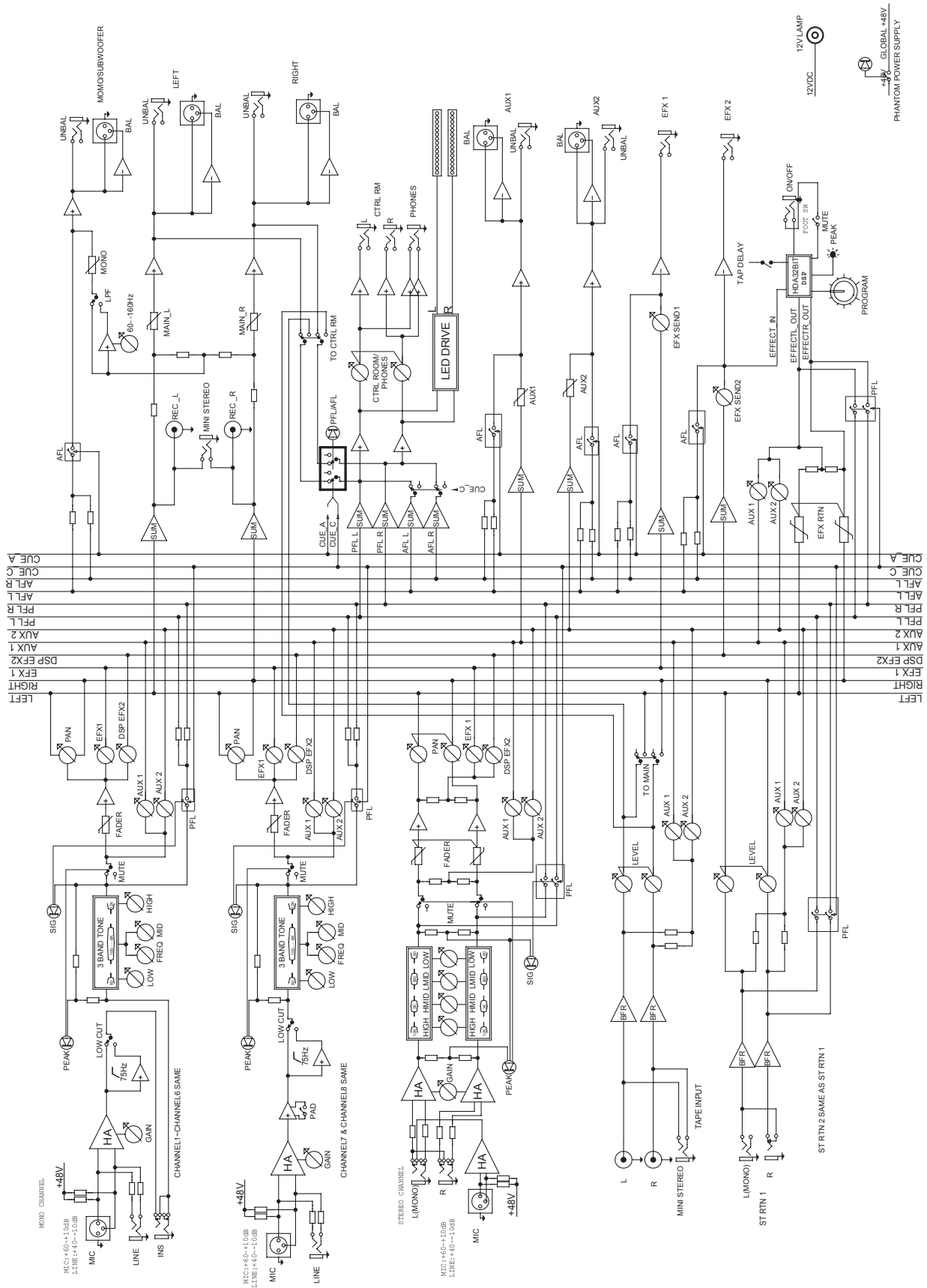


寸法



	AM821X	AM1221X	AM1621X	AM2421X
X (mm)	437.2	437.2	437.2	437.2
Y (mm)	510	642	774	1038

ダイアグラム



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/